

1 縞柄は2色以上の色の二方連続による文様であるが各色の分量，比例及び構成，方向等によって視覚的に種々な変化が得られる。これを日常衣服に発展させ各自の肢体顔型髪形等に応じ最も調和せる場合を発見したいと思う。

2 廿数種の毛糸編チョッキを十数名の特に異った体軀のモデルに着用させ変化ある背景のもとで撮映し之をスライドとして上記の目的を研究してみた。

3 別表の如くアンケートの結果を見るに，同じ縞柄でもモデルの体形によって似合うものと似合わぬものが出来た。バスの美しさはその縞柄を見る方向にある程度一致している。スカートの色との調和はカラーフィルムの撮影が充分効果的でなかったため実物より不調和におわった。しかし概してチョッキと同系色か逆に深い色の方が調和がよい様に思える。ブラウスとの調和はこの場合は白又はうす色がほとんどであるが 6, 74, 180 等は格子柄 33, 84, 167 は色の深いもの 47, 64, 182 はプリントもののブラウスにも調和される様に思われる。同じ縞柄においても毛糸の材質の相異によって又編物の手法を研究することによって多くの種類の変化のある縞柄を得られました。